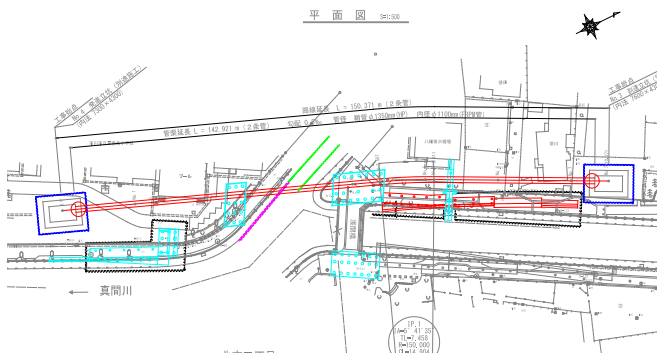


▲実績 8 江戸川左岸流域下水道管渠築造工事  
(市川幹線 502-2 工区)

図面



工事概要

呼び径：φ1350mm  
 推進延長：142.921m  
 (150R 1カーブ)  
 土質：(砂質土及び粘性土)  
 N値：平均 18.5  
 礫率： - %  
 最大礫径： - mm  
 地下水位：GL-2.66m  
 土被り：21.34m～20.92m

地中障害物：圧入ケーソンのソイル  
 (発進側 L=0.9m, 到達側 L=0.3m)  
 (今回未検出、想定ではSMWのH鋼)

工期：昼間施工(8h)  
 (切削時 10h) 2.5ヶ月  
 (2014.12.01～2015.2.13)

下段の工事の際に(φ1350mm 泥水工法, 他社施工)固いソイル状の障害物がありビットが破損した経緯がある為、設計変更となった現場である。発進及び到達を安全に施工する為に、圧入ケーソン壁を(無筋の予定であったが実際は鉄筋が少々混入している)発進側でL=0.9m、到達側でL=0.3m切削した。



φ1350mm ミリングモール掘進機



排出したコンクリ片。



排出したコンクリ片。